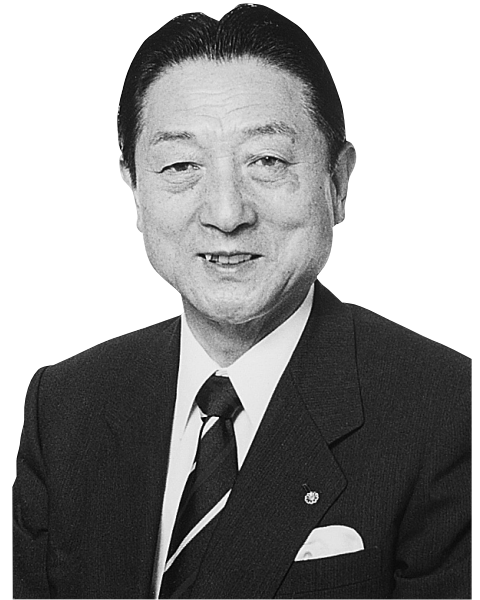


迎春



年頭にあたって

謹んで年の初めのお祝いを申し上げます。皆さまには、すがすがしい新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

町政を担当して以来、皆さまの温かいご支援をいただきながら「潤いと安らぎのあるまち」を目標に鋭意努力を続けてまいりました。皆さまのお力添えに心から感謝申し上げます。

この一年を振り返りますと、やはり昨年三月十一日に発生した千年に一度といわれる東日本大震災に始まり、自然の脅威を実感させられる年でありました。

東日本大震災により亡くなられた方々に、改めて衷心より哀悼の意を表するとともに、御遺族、被災された方々に、心からのお悔やみとお見舞いを申し上げます。

私たちは、三月十一日わが国を襲った信じられない光景をこの目で目撃しました。多

くの人々や家屋が波になすすべなくのみ込まれ、また日本の国始まって以来の原子力災害の恐怖に直面する中で、人間の無力さを感じざるを得ませんでした。一方で、奮然として苦難に立ち向かう人々の姿に、人間の力強さを感じ入り、ともに復旧復興にできる限りの支援を行っていかねればならないという思いを強くしたところでございます。

平成二十三年の世相を漢字一字で表す「今年の漢字」に「絆」が選ばれ、京都清水寺の森清範貫主が特大の和紙に揮毫（きごう）しました。

相次いだ災害で再認識された家族や仲間、地域とのつながりの大切さなどが選ばれた理由に挙げられています。新しい年もこの「絆」を大切にしながら地域とのつながりを深めていかなければなりません。

農業では、コメ農家にとりましてはコメの仮渡し価格が

若干上昇しましたが、猛暑の影響からか収量が減少するなど昨年に引き続き厳しい年となりました。リンゴ農家にとりましては、一定の価格は維持したものの、一昨年の猛暑の影響からか平年の七割程度まで収量が減少し、全体としては厳しい年となりました。天候の影響を受けやすい農業につきましては、戸別所得補償制度の充実など農家の皆さんが安心して生活できる制度の確立を目指して努力してまいります。

農業政策につきましては、TPPへの参加が大きな懸念材料となっております。

野田首相は、去る十一月十一日環太平洋経済連携協定、いわゆるTPP交渉に参加する方針を正式に表明しましたが、農業を主産業とする青森県、とりわけ西北五地域を中心とした津軽地域は、関税撤廃による安い農産物の輸入により価格破壊が生じ壊滅的な

被害が予想され、農業が産業

として成り立たなくなることに懸念されます。特に米とリンゴを基幹作物とする当町においては、地域経済に与える影響が大きく、米と小麦を合わせた売上高で十二億六千八百万円の減少が見込まれるとの試算が出されております。

このTPP問題につきましましては、国において農家の皆さんがしっかりと生活できるような具体策を示していただくなど、農業を始め国民生活の根幹となる諸制度を守る観点からも、今後とも国の動向を注視しながら、関係機関と一体となって組織的に国に働きかけてまいります。

このような中であっても、昨年は青森県民体育大会において六年連続十七回目の総合優勝を成し遂げることができました。まさに青森県一スポーツが強い鶴田町として、その名をとどろかせることができました。この快挙は、選手ならびに関係者の皆さんが町の名譽をかけて一致団結して成し得たものであり、体育協会ならびに関係各位に対しまして心より敬意を表する次第

であります。

さて、本年はアメリカオレゴン州フッドリバー市と姉妹都市盟約を締結して三十五周年の節目の年となります。

「国際化時代に対応した人づくり」を目指し、一九七七年から国際交流事業をスタートさせ、同年七月二十七日には同市と姉妹都市を締結いたしました。当時は、「国際交流」という文字が新聞等に掲載されることは珍しく、国際交流の方法も知らず、今は亡きレイ・安井氏をはじめフッドリバー市長、そして姉妹都市委員会ならびにフッドリバー市民の心温まるご支援とご協力により何とかスタートすることができました。以来、一九七九年からは高校生による一年間の留学生派遣事業、一九八四年からは中学生大使派遣事業をそれぞれ実施し、更に二〇〇〇年からは鶴田高校が独自に姉妹校であるフッドリバーバレー高校との間に海外研修旅行を始め、これまでに両市町による相互交流者は、千四百四十二名に上っております。

また、幼児期から国際感覚

を身に付けてもらうために、

一九九一年からはフッドリバー市から国際交流員を招致し、保育所や小学校などを訪問しているほか、英会話教室などで町民との交流を図りながら人づくりに努めているところでございます。英語は世界の共通語であり、小学校から英語に親しみ、英語に強い子ども、英語に強い学校、そして英語に強い町を目指したいという願いを込めて実施してまいりました。本年の三十五周年を契機として、フッドリバー市との交流がなお一層強い絆で結ばれ、永遠に交流を深め飛翔することを心から願っております。

また、かねてから進めてまいりました西北五地域医療再編成計画に基づく中核病院「つがる総合病院」の建設工事が平成二十五年の開業を目指して昨年八月から進められておりますが、いよいよ本年は、鶴田診療所の建設に着工し、十二月ごろには新診療所として開業する予定となっております。中核病院として高度医療を担う「つがる総合病院」との役割分担をしながら、

地域医療の充実に貢献できるよう努めてまいります。

今後とも、町民の皆さまとともに知恵を出し合い、安全で安心して暮らせるよう、小さいながらもきらりと光るまちづくりに向けて、誠心誠意努力してまいりますので、な

お一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年も町民の皆さまにとりまして、健康で幸多い年でありませう、心からお祈り申し上げ、新年のあいさつといたします。

鶴田町長 中野撃司



豊かさを実感できる町に

新年おめでとうございま
す。

町民の皆さまには、健やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

平成二十四年の年頭に当たり町議会を代表して、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年は、世界の人口が初めて七十億人を超えた年であり、中国がGDPで日本を抜いて世界第二位の経済大国になった年です。

日本では三陸沖を震源とする国内観測史上最大のマグニ

チュード9・0の地震である東日本大震災が三月十一日に発生しました。

強い揺れと大津波で岩手、宮城、福島三県沿岸は壊滅的被害を受け、本県を含め死者・行方不明者は約二万人に上りました。首都圏では交通網がまひし、大勢が帰宅難民となりました。このことは、

世界中のトップニュースとして取り上げられるなど、わたしたちの想像をはるかに超える甚大な災害になりました。

さらに、この地震の影響で福島県の東京電力福島第一原

子力発電所で、全電源喪失に伴い、冷却不能になった原子炉の建屋で相次いで爆発が起き、大量の放射性物質が拡散し、周辺住民が避難しました。当町では停電とガソリン不足で不便な思いをしました。が、岩手、宮城、福島の被害と比較すると被害が小さかったと感じております。

その被災地に対する義援金対策のため、臨時会が開催され、提案された議案については全会一致で可決するとともに、開会の先立ちでは、被災された方々に黙祷により哀悼の意を捧げております。

嬉しい話題としましては、サッカー女子ワールドカップにおいて、なでしこジャパンが世界一に輝き、世界陸上のハンマー投げで室伏選手が世界一となり、スカイツリーが六百三十四メートルで世界一の高さを誇るタワーと認定されるなど世界一の並んだ一年でした。

当町においては、一昨年から健診率日本一を目指して事業を展開して、その目標が徐々に達成しつつあります。

今後も健診率の向上を図り健康で文化的な生活を営めるまちづくりを目指していきたい

と思います。

また、県民体育大会においては、六年連続十七回目の優勝の栄誉に輝き、まさにスポーツの町鶴田の面目躍如といった感があります。この記録をさらに伸ばすべく鋭意努力を願うものです。

町民憲章のひとつに「スポーツに親しみ、健康で住みよい町をつくりましょう。」とありますが、まさにそのようになっていると感じております。

昨年、新幹線が青森から鹿兒島までレールで繋がりが、日本列島の骨格ができあがり、新幹線が北海道まで延びようとしていきます。北海道に延びてしまう前に、新幹線効果が青森、この西北五地域、特に鶴田に効果が及ぶためにはどうすればよいのかさらに検討を重ねていきたいと思えます。

一方、当町の主産業であります農業ですが、コメは一等米比率が95・4パーセントと品質が高く、値段も高めなのですが、量が少なめです。リンゴは価格が高めで推移していますが、花芽不足や小雨により量が少なく、小玉傾向にあるようです。ブドウはお

おむね前年並みと思っております。

コメ、リンゴ、ブドウ等、当町の農作物が豊作でかつ値段が良いのが理想的です。そうなることによって、農家の方々が豊かになります。

豊かさを実感出来るまちづくりが求められています。豊かさを感じ、住みやすさを感じ、生きがいを感じられる町のために議会が果たす役割が大事になっていきます。

地方分権が進む中、今まで経験したことのない大きな改革の時期に遭遇しております。地方自治体の真価が問われる時代になり、私たち議員も何が必要か、的確に判断し、町との十分な意思疎通を図りながら、その責務を果たし、住みよいまちづくりのため努力してまいります。そして行政と議会と町民が一体となったまちづくりを進めたいと思えます。

終わりに、本年も町民の皆さまが健やかで幸多い年でありますようお祈り申し上げます。議会を代表して、新年のあいさつといたします。

鶴田町議会議長 **出町 豊**